

マルハナバチのなかま

※ ♀ は働きバチ、♂ はオスバチ、
♀ は女王バチを示す。

花と深い関わりを持つハチのなかま。体の色のパターンで5つのタイプに分けています。外来種が増えてきていますが、在来種も多く観察することが出来ます。

外来タイプ

セイヨウオオマルハナバチ ★

外来種



- ♪ お尻が白いのはこのタイプのみ。
- ♪ 胸の黒地にレモンイエローの帯がよく目立つ。
- ♪ オスとメスは似ている。

場所 開けた環境を好み、農村部や大きな公園、庭などに多い

時期 4~10月 8月にはオス♂も出てくる

花 ラベンダー、ムラサキツメクサ、オオハンゴンソウ、コスモスなど

※トマトなどの受粉を助けるために導入された種で、野外に逃げたものが増え、在来種への悪影響などが心配されています。外来生物法に基づく「特定外来生物」に指定され、生きたまま持ち運ぶことなどが禁止されています。

三色タイプ

3種が含まれる。市街地はエゾコマルハナバチが多い。



エゾオオマルハナバチ ★

- ♪ 黒と白の縞模様で、お尻はオレンジ色。
- ♪ オスは全体に黄色味がかかって、トーンがはっきりしない。

場所 開けた環境を好み、どのような場所でもよく見られる

時期 4~10月

花 クローバー、ハマナスなど、さまざまな花を利用する



エゾコマルハナバチ ♀ ★

- ♪ オオマルに似ているが、働きバチのえりの白が薄い。
- ♪ 7月後半には数が減り、黄色タイプのオスが出てくる。

エツヒメマルハナバチ ♀ ★★★★★

- ♪ 女王がオオマルに似ているが、胸と腹のつなぎ目が白い。
- ♪ 高山でしか見られない。
- ♪ 働きバチは灰色タイプ。



● 赤色タイプ

アカマルハナバチ ★★★



あか目立つタイプ



♀



♂

- ♪メスは全身赤みの強いオレンジ色で、お尻が黒い。
- ♪オスは赤みが薄いオレンジ色で、お尻の黒は目立たない。

場所 低地から高山まで 市街地でも見られるが少ない

時期 4~7月 8月以降はほとんど見られない。

花 夏はシロツメクサやラベンダーの花で見られる

● 黄色タイプ

街ではエゾコマルハナバチのオスがよく見られる。



きいろ目立つタイプ



♀



♂

● エゾトマルハナバチ ★★★

- ♪全身薄いオレンジ色。
- ♪顔が長く、舌も長い。
- ♪オスとメスはよく似ている。

場所 低地から亜高山まで分布するが、市街地では少ない

時期 6~9月

花 キツリフネやエソトリカブトなど、長い花を好む



♂

● エゾコマルハナバチ♂★

- ♪全身明るい黄色で、お尻だけオレンジ。
- ♪8月中旬には見られなくなる。

○ エゾナガマルハナバチ

★★★★

- ♪黄色味を帯びた灰色。
- ♪顔が長い。
- ♪主に高山に生息する。



♀

○ 灰色タイプ

市街地はニセハイロマルハナバチが多い。



しろっぽいタイプ



♀



♂

○ ハイロマルハナバチ (類) ★

- ♪全身灰色だが、むねは毛が少なく黒っぽく見える。
- ♪ハイロマルハナバチとニセハイロマルハナバチの2種がいる。野外での区別は難しいが、市内ではニセハイロマルハナバチが多いと言われる。

場所 低地の開けた場所に多い

時期 6~10月 見られる時期がやや遅い

花 クローバーやクサフジなどのマメ科の花

チョウのなかま

※「大きさ」はハネを広げた時の幅。

チョウの幼虫は種類ごとに食べる植物（食草・食樹）がおおよそ決まっているので、その植物の周りをさがしてみましょ。成虫になると花や樹液に集まります。



指 キアゲハ ★

- 場所** 食草がある庭先や草むらなど
- 時期** 5～9月（年3回羽化）
- 大きさ** 約6～9cm

♪ 食草はミツバやニンジンなどのセリ科の植物。

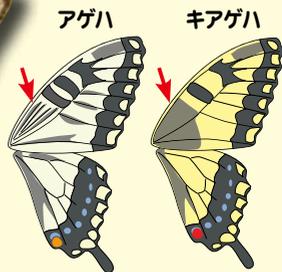
にている種 アゲハ

♪ キアゲハは前バネのつけねが全体に黒くなり、アゲハは黒い線が入る（下図の→）。

アゲハ（ナミアゲハ）★★

- 場所** 庭先など
- 時期** 5～9月（年3回羽化）
- 大きさ** 約6～8cm

♪ 食樹はキハダなどのミカン科の植物。



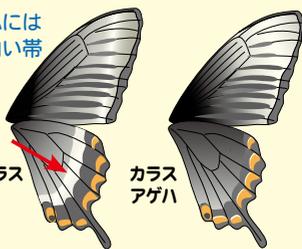
ミヤマカラスアゲハ★★

- 場所** 森林や林道などに多い
- 時期** 5～9月（春と夏に羽化）
- 大きさ** 約7～11cm

♪ 食樹はキハダなどのミカン科の植物。
♪ アザミ類の花をよく訪れる。

にている種 カラスアゲハ

♪ ミヤマカラスアゲハには後ろバネのうらに白い帯がある（→）。



♪ 林道の上で集団で吸水する姿がよく見られる。

👉 モンキチョウ 🦋 ★

場所 川沿いや公園、道ばたの草むらに多い

時期 5~10月(年3、4回ほど羽化)

大きさ 約5cm

- ♪ 食草はシロツメクサなどのマメ科の植物。
- ♪ オスは黄色いハネをもち、前パネのふちが黒くなる。メスのハネは白いものが多い。

にている種 シロチョウのなかま (下記参照)



🦋 シロチョウのなかま

モンキチョウ以外にも、市内でよく見られるシロチョウのなかまがあるので、見分けてみましょう!

モンシロチョウ

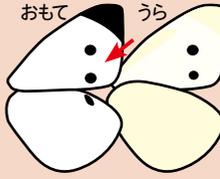


- ♪ 白い前パネの先は三角の黒い模様がある。
- ♪ 前パネの両面には、黒い紋がある。

モンキチョウ



モンシロチョウ



オオモンシロチョウ



- ♪ 前パネの表とうらに2つの黒い斑がある(▲)。
- ♪ より大型で、三角の模様も大きい(▲)。

スジグロシロチョウのなかま

※このタイプは2種(スジグロシロチョウ・エゾスジグロシロチョウ)・季節(春型・夏型)・性(オス・メス)で、 $2 \times 2 \times 2 = 8$ の組み合わせがあるので、くわしく知りたい場合は、市販の図鑑をみよう!



- ♪ 脈の黒い線が目立つ。

スジグロシロチョウ 夏型・おもて



スジグロシロチョウ エゾスジグロシロ うら チョウ うら



- ♪ メスは前パネの先の黒い模様や黒い斑が大きい(▲)。
- ♪ スジグロは、前パネに黒い模様があり、付け根は一部灰色(▲)。
- ♪ エゾスジグロは脈の線が太い。

エゾシロチョウ



エゾシロチョウ

- ♪ 大きさは約6.5cmで最も大型。
- ♪ 黒いくっきりした脈を持つ。
- ♪ リンブンが少なく、ハネが透けて見える。
- ♪ 幼虫はバラ科の葉を食べ、リンゴなどで幼虫が大量発生する年がある。



ベニシジミ ★

場所 川沿いや公園、道ばたの草むらに多い

時期 5～9月(年3回ほど羽化)

大きさ 約3cm

- ♪食草はエゾノギシギシなどのタデ科の植物。
- ♪前バネは両面ともオレンジ色に黒い模様がある。
- ♪夏に羽化するものはやや黒みが強くなる。

クジャクチョウ ★★

場所 草地や川のそばなど

時期 3～6月(越冬個体)、7～10月

大きさ 約5～6cm

- ♪食草はイラクサ科の植物、カラハナソウ。
- ♪成虫はキク科の花などでよく見られる。
- ♪成虫で越冬する。
- ♪ハネに大きな目玉模様がある。裏側は黒っぽい。



コムラサキ ★★★

場所 ヤナギ林のある川のそば

時期 7～8月

大きさ 約6cm

- ♪食樹はヤナギ科の樹木。
- ♪川沿いで吸水する姿も見られる。
- ♪オスのハネは、見る角度によって紫色にかがやき美しい。メスにはこうした光沢はない。



ミドリヒョウモン ★★★★

場所 平地や山地の森林や周りの草地

時期 7～9月

大きさ 約6cm

- ♪食草はスミレ科の植物。
- ♪成虫はキク科の花などでよく見られる。

にている種 オオウラギンスジヒョウモンなど



♪後バネに
白いすじ

ミドリ
ヒョウモン

オオウラギンスジ
ヒョウモン

♪ハネの表面は
オレンジと黒の
ヒョウ模様。



♪ヒョウモンチョウは、表面はにている種類
が多いが、うら面の違いが大きい。

➡ くわしく知りたい場合には、市販の図鑑をみてみよう!

★ =よく見る!

★★ =ふつう

★★★★ =ややめずらしい



トンボのなかま



※「大きさ」は頭から尾の先までの長さ。

幼虫(ヤゴ)は水の中で育ち、成虫は空を飛び回ります。水辺に多い!



オニヤンマ ★★

場所 小川や溪流沿い

時期 成虫は7~8月

大きさ 約7~9cm

♪ 目は緑色、体はトラ模様。

にている種 **コオニヤンマ**

オニヤンマの顔 (正面)

コオニヤンマの顔 (正面)



♪ 両目が接している。

♪ 両目が離れている。

♪ よく川沿いのなわばりを行ったりきたりして飛んでいる。

オオルリボシヤンマ ★★★★★

場所 沼や池、流れのゆるい川のそば

時期 成虫は7~9月

大きさ 約7~8cm

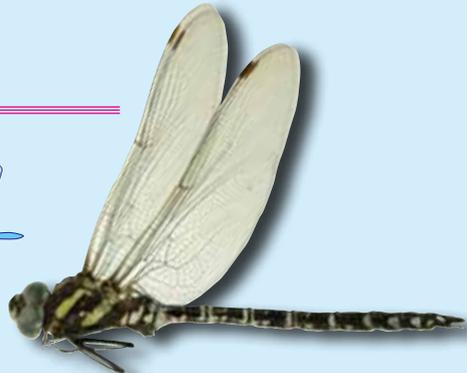
♪ 体は、黄緑と黒のストライプ。
メスには青と黒のタイプもある。

♪ むねの様子は先がふくらむ
(右図: →)。

にている種 **ルリボシヤンマ**



むねの様様



ルリボシヤンマ ★★★★★

場所 沼や池、湿地のそば

♪ 成虫の時期や大きさは、オオルリボシヤンマとほぼ同じ。

♪ むねの様子は先がほそくなる
(右図: →)。



いわゆる「赤トンボ」にもいろいろな種があります。見分けてみましょう!

アキアカネ 🦋★

場所 市街地でもふつうに見られる

時期 成虫は7~10月

大きさ 約4cm

♪ 成熟すると赤くなる。メスは黄色のままのこともある。

にている種 ナツアカネ・マユタテアカネ



むねの模様

♪ 真ん中の黒い模様は、先が細くなる。

ナツアカネ 🦋★★★

場所 市街地でもふつうに見られる

時期 アキアカネよりもやや早い

大きさ 約4cm

♪ アキアカネに比べ、顔を含めて体全体が赤くなる。



むねの模様



♪ 真ん中の黒い模様は、先まで太い。

ノシメトンボ 🦋★

場所 市街地でもふつうに見られる

時期 成虫は7~10月

大きさ 約4cm

にている種 ミヤマアカネ・コノシメトンボ

♪ ノシメトンボとコノシメトンボはハネの先が黒い。

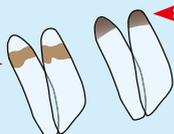
ミヤマアカネ 🦋★★★

場所 平地の川沿いや池のそば

時期 成虫は7~9月

大きさ 約3.5cm

♪ ハネの先より内側に茶色い帯。



ノシメトンボ



♪ むねの中央に黄色の太い模様。



コノシメトンボ

♪ ノシメトンボよりもやや小さい。
♪ 市内では少ない。

マユタテアカネ 🦋★★★

場所 平地の川沿いや池のそば

時期 成虫は7~9月

大きさ 約3.5cm

♪ アキアカネやナツアカネに比べて、体が小さく、おなかも細い。



♪ 顔の正面に黒い模様があることが多い。

★ =よく見る!

★★ =ふつう

★★★★ =ややめずらしい

指 シオカラトンボ

場所 市街地の川沿いでも見られる

時期 成虫は6~9月

大きさ 約5cm

♪オスは黄色から白青色になり、腹の先が黒い。メスはふつう黄色のまま。



オス



メス

♪ハネのふちが黄色い。

にている種

シオヤトンボ ★★★★★

ヨツボシトンボ ★★★★★

シオヤトンボ

♪シオカラトンボより小さく、おながが太い。出現時期が早い(5~8月)。



ヨツボシトンボ

♪シオカラトンボに比べ、おながが短くて太い。出現時期が早い。

イトトンボのなかま

市内で見られるイトトンボ(亜目)のなかま(15種程度)のうち、よく見られる3つを紹介!

アオイトトンボ ★★★★★

場所 平地や山地の池や湿地

時期 成虫は7~9月

大きさ 約4cm

♪体全体が金属のような光沢がある。成熟したオスは粉をまとい青白く見える。

オス



メス



にている種 ニホンカワトンボ 48ページ参照

オツネイトトンボ ★★★★★

場所 池や湿地のそば。市街地でも見られる

時期 成虫はほぼ一年中 **大きさ** 約3.5cm

♪名前のとおり、成虫で冬を越す。体色は、茶色っぽくて目立たない保護色をしている。



イトトンボ科のなかま ★★★★★

場所 平地や山地の池や湿地

時期 成虫は5~9月 **大きさ** 約3~4cm

♪イトトンボ科のトンボは市内に9種いる。

♪黒と水色のしま模様の種が多く、よく似ている。

♪頭部の後ろの模様(↘)や、おなかの付け根の模様(↙)で見分ける。

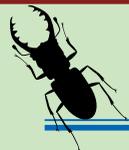
頭部の後ろ

おなかの付け根の模様



エゾイトトンボ

→ くわしく知りたい場合には、市販の図鑑をみてみよう!



クワガタのなかま



※「大きさ」はアゴを含めた長さ。

みんな見つけたい昆虫の王さま。本にはよく「クヌギ・コナラの木をさがそう」と書いてありますが、北海道ではミズナラ・ハルニレ・ヤナギなどの木にいます。

ミヤマクワガタ ★★



- 場所** ミズナラやハルニレの木
- 時期** 7月に多い、8月はメスばかり
- 大きさ** 約3~7.5cm

- ♪ もっとも大型になる。
- ♪ アゴの形は3タイプある。
- ♪ 足のもの裏側が黄色い。



♪ メスは黒っぽく光沢がある。

メス

アカアシクワガタ ★★

- 場所** ヤナギやハルニレの木
- 時期** 7~9月
- 大きさ** 約3~5.5cm

- ♪ 足のもの裏とおなか赤い。
- ♪ 街灯によく飛んでくる。



ノコギリクワガタ ★★★★★

- 場所** 川の周辺のヤナギなど
- 時期** 7~8月
- 大きさ** 約3~7cm

- ♪ 赤みがかったものが多い。
- ♪ アゴの大きさはさまざま。

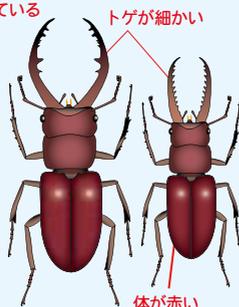


クワガタの見分け方

♪このほか、札幌にはヒメオオクワガタ、オニクワガタなどがある。



ミヤマクワガタ



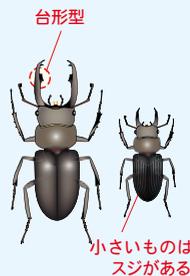
ノコギリクワガタ



アカアシクワガタ



コクワガタ



スジクワガタ



コクワガタ ★★★

場所 市街地の公園など

時期 5~9月

大きさ 約2~5cm

♪黒っぽい。アゴのトゲは一つ。
♪街灯によく飛んでくる。



スジクワガタ ★★★

場所 ハルニレやヤナギなどの木

時期 5~9月 ♪小型のオスとメスは背中にスジが入る。

大きさ 約1.5~3cm ♪よく地面を歩いている。



カブトムシ ★★★ 外来種

場所 街灯の下など

時期 7~9月

大きさ 約5~8cm

※北海道には元々いなかった虫で、本州から持ち込んだものが逃げるなどして増えています。



バッタのなかま



※「大きさ」は体の長さ。
ハネが長い場合ハネまで

川沿いや空き地の草むら、庭先、森のそばの草むらなどをさがしてみましよう!



ハネナガキリギリス



場所 川沿いや森のそばの草むら

時期 成虫は7~9月

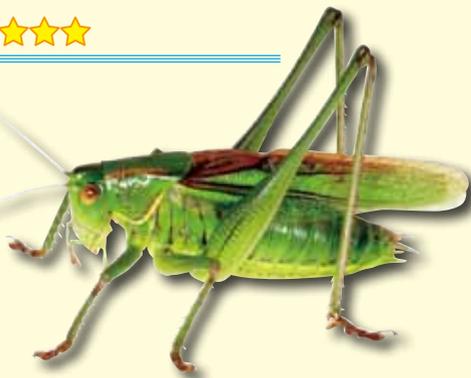
大きさ 約4~5cm

♪メスはおなかの先に刀のような産卵管がある。

にている種 ツコムシ、クサキリ類

♪ツコムシは大きさ3cmほどで小さい。

♪クサキリ類は、大きさ3~4cmほどで、
頭は横から見ると三角形。



トノサマバッタ



場所 草むら、荒地、空き地など

時期 成虫は7~9月

大きさ 約4.5~6cm



茶色タイプ(褐色型)

♪緑色と茶色の2タイプがある。

♪後ろ足のつけね付近に耳がある。

♪シヤッ、シヤッ

カンタン



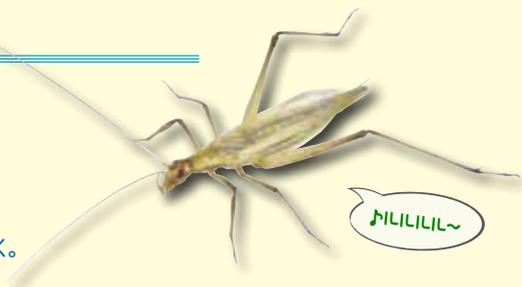
場所 草むらの葉や花の上など

時期 成虫は7~9月

大きさ 約1~2cm

♪コオロギの仲間。オスがよく鳴く。

♪秋になると、夜だけでなく日中もさかんに鳴く。



♪LILILIL~

★ =よく見る!

★★ =ふつう

★★★★ =ややめずらしい

サッポロフキバッタ



★★★

場所 山地の草むら

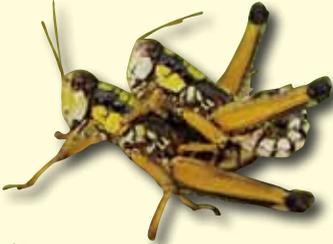
♪ハネを持たない。

時期 成虫は6~9月

♪目から背中にかけての黒いすじが目立つ。

大きさ 約2~3cm

♪幼虫は体が黒い。



幼虫

ヒナバッタ



★

場所 草むら、荒地、空き地など

時期 成虫は7~9月

大きさ 約2~2.5cm



♪ジュジュジュ、ジュジュ

ミカドフキバッタ



★★★

場所 山地の草むら

時期 成虫は6~9月

大きさ 約2~3.5cm



♪ハネは短い。

♪後ろ足の内側や側面が赤い(➡)。

♪全体はうす茶色で、おなかには白と黒の縞模様。
♪背中に白い“><”という模様(➡)がある。
♪ハネに白い模様(➡)が入る。

ハネナガフキバッタ



★★★★

場所 山地の草むら

時期 成虫は7~9月

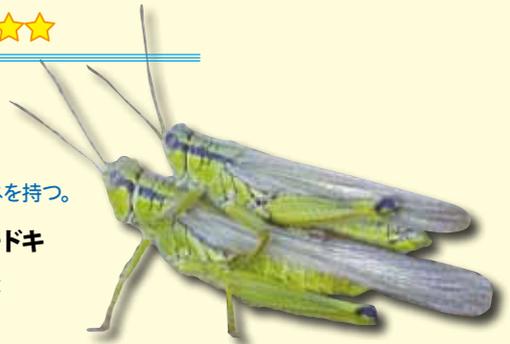
大きさ 約2.5~4cm

♪名前のとおり、体をはみ出すほどの長いハネを持つ。

にている種 コバネイナゴ・イナゴモドキ

♪コバネイナゴは一回り小さい。後ろバネはふつう、お腹の先を越えない。

♪イナゴモドキの前足は細くて長い。



ケラ



★★★★

場所 草むら、空き地など

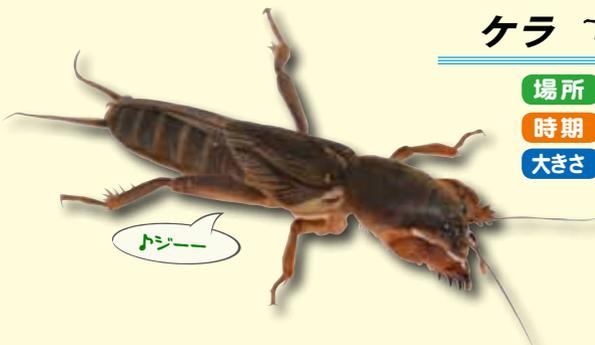
時期 成虫は6~9月

大きさ 約3cm

♪前足はモグラのように土をほりやすい形をしている。

♪ピロードのような細かい毛が生えている。

♪夜行性で、オスもメスも鳴く。





セミのなかま



※「大きさ」はハネを含めない長さ。

セミのなかまは、成虫も幼虫も樹木との関わりが深い昆虫で、札幌市内で10種が確認されています。主に本州以南に多い南方系のセミも5種含まれています。羽化した後に残された「ぬげがら」でも種類が調べられます(28・29ページ)。

指 エゾハルゼミ ★

場所 低地～山地の森林

時期 5～7月

大きさ 2.3～3.7cm

♪北海道を代表するセミの一つ。
♪初夏にうるさく鳴いているのはこのセミ。

♪ミョーキン、ミョーキン、
ミョーケケケケ...



羽化の様子



指 コエゾゼミ ★

場所 低地～山地の森林

時期 7～9月

大きさ 3.4～3.8cm

♪夏にうるさく鳴いている。
♪庭や公園でも見られる。

エゾゼミ ★★

場所 低地～低山地の森林

時期 7～8月

大きさ 4.0～4.6cm

♪中胸の側面に白い粉(→)。
♪低い声で鳴く。
♪特に東部の低地に多い。

アカエゾゼミ ★★★★★

場所 低山地の広葉樹林

時期 7～8月

大きさ 3.9～4.4cm

♪全体に橙色が強い。
♪天然林に生息し、市内では少ない。



♪胸の模様
に切れ目(→)
がある



♪ギー……



♪ビーーン

♪ジー……(ビーーン)



アブラゼミ



★★★

場所 市街地、公園、河畔林**時期** 7~8月**大きさ** 3.4~4.0cm

- ♪ 本州に多い南方系のセミ。
- ♪ ハネが茶色く、ハルニレやサクラを好む。
- ♪ 低地の公園で見られる。



トシシシシ...

エゾチッチゼミ



★★★★

場所 山地のがけ地**時期** 7~9月**大きさ** 2.0~2.8cm

- ♪ ハネをたたむと後ろバネが三角形に飛び出す(→)。
- ♪ 鳴きながら飛び移る。
- ♪ 市内では少ない。



トシシシシ...

過去の生き物さがし(2019~22年)の結果

種名	地区数(データ数)	種名	地区数(データ数)
エゾハレゼミ	170地区(404)	ミンミンゼミ	16地区(38)
エゾゼミ	63地区(129)	アカエゾゼミ	13地区(18)
コエゾゼミ	61地区(91)	エゾチッチゼミ	3地区(7)
アブラゼミ	50地区(139)	ニイニイゼミ	2地区(3)
ツクツクホウシ	17地区(36)	ヒグラシ	2地区(2)

※地区は1km四方を単位としている。

南方系で、市内の限られた場所で報告があるセミ

★★★★

ミンミンゼミ

**場所** 山地の森林**時期** 7~8月**大きさ** 2.9~3.9cm

- ♪ 黒地に緑色の模様。
- ♪ 定山溪で確認。



トミンミンミンミンミー...

ツクツクボウシ

**場所** 河畔林**時期** 7~8月**大きさ** 2.6~3.3cm

- ♪ 真駒内公園周辺で確認。

トククククボウシ、ククククボウシ...
ククククボウシ、ククククボウシ、クククク...

ニイニイゼミ

**場所** 公園など**時期** 7~8月**大きさ** 2.0~2.6cm

- ♪ ハネに茶色の模様がある。
- ♪ 明け方と夕方によく鳴く。
- ♪ 北海道神宮で確認。



トトトト...

ヒグラシ

**場所** 低地の森林**時期** 7~8月**大きさ** 2.3~3.9cm

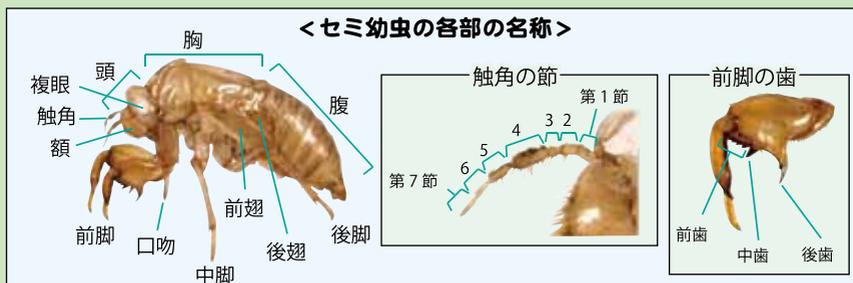
- ♪ 腹の先に白い粉(→)。
- ♪ 明け方と夕方によく鳴く。
- ♪ 北海道神宮・円山公園で確認。



トトトトトト...

さっぽろのセミのぬけがらの見分け方

使い方: ①から始めて、aとbどちらか当てはまる方を選んで進んでください。細かい部分を見るときはルーペを使ってください。ぬけがらの写真は、ほぼ実寸大です。



① a. 体は丸く、全体が泥におおわれる。



ニイニゼミ

b. 体は細長く、全体が泥におおわれることはない。



②へ

② a. 前脚の中歯がとがらない。胸部と腹部の節に黒褐色の縁取りがある。



エジッチゼミ

b. 前脚の中歯が鋭くとがる。



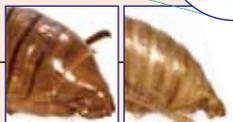
③へ

③ a. 腹部先端が尾状に突出する。体に光沢がない。額が大きく膨らむ。



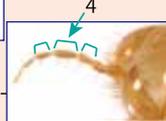
ツクツクボウシ

b. 腹部先端が尾状に突出しない。



④へ

④ a. 触角第4節が最も長い。



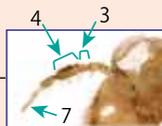
⑤へ

b. 触角第4節が最も長くはない。

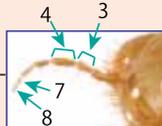


⑥へ

- ⑤ a. 触角は7節で、第4節の長さは第3節の約2.5倍。



- b. 触角は8節で、第4節の長さは第3節の2倍より短い。



エゾハルゼミ



ヒグラシ

- ⑥ a. 前脚の前歯と中歯が連続する。触角は7節。



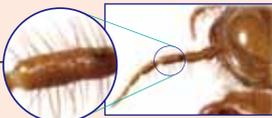
⑦へ

- b. 前脚の前歯と中歯が離れる。触角は8節。



⑧へ

- ⑦ a. 触角は太く、毛が多い。



アブラゼミ

- b. 触角は細く、毛が少ない。



ミンミンゼミ

- ⑧ a. 体長は30mm未満。体に光沢がなく、黒い模様がある。



体長

- b. 体長は30mm以上。体に光沢がある。

⑨へ

- ⑨ a. 体は赤褐色。

- b. 体は黄褐色。



コエゾゼミ*



アカエゾゼミ*



エゾゼミ*

*区別が非常に難しい種類です。正確な同定には他の部分も調べる必要があります。



札幌市内のセミの分布については、市民参加型の調査「札幌市セミ調査」（札幌市博物館活動センター・札幌昆虫自然史研究会）も2008～2010年と2019～2020年に実施されています。札幌市博物館活動センターのHPや調査結果紹介のパンフレットなどをご覧ください。